



M.M.Honcho Newsletter

【10月号】令和8年9月30日発行

▼WEB PAGE



▼e-mail



「みらい」を想い、共に歩む秋に

校長 大井 慶亮

朝夕の風に涼しさが混じり、少しずつ秋の訪れを感じられる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

去る9月8日には今年度2回目となる授業参観・懇談会を実施いたしました。当日は全学級で道徳の授業を行いました。本校は今年度、横浜市教育委員会より「豊かな心の育成推進校」の指定を受けており、当日は保護者の皆様のほか、市内の学校からも多くの教員が集まり、授業を参観いたしました。また、日頃から学校を支えてくださっている学校運営協議会委員の方々にもご来校いただき、子どもたちの実際の学びの様子をご覧いただきました。

近年、道徳の授業は「読む道徳」から「考え、議論する道徳」へと大きく転換しています。かつてのように登場人物の気持ちをなぞったり、道徳的価値を確認したりするだけでなく、自分のこととして捉え、問い直し、他者と対話しながら考えを深めていく学びです。

当日の教室では、正解が一つに定まらない問いに対し、子どもたちが真剣に向き合い、言葉を交わし合う姿が見られました。私が道徳の授業で最も大切だと考えているのは、いわゆる模範解答のようなものを探して口に出ることではなく、どこまで自分の本音を出し、悩み、葛藤できるかということです。自分とは異なる考えや多様な価値観に触れ、葛藤しながらも考え続けるプロセスこそが、心のしなやかさや本当の意味での豊かな心を育むと信じております。これからも自分の心に誠実に向き合い、学びを深める子どもたちの姿を目指して、道徳の授業づくりに取り組ん

でいきたいと思います。

さて、本校が位置する「みなとみらい地区」では、現在、未来のまちづくりを見据えた「みなとみらい地区将来ビジョン」の策定に向けた準備が進められています。住民や就業者を対象としたアンケートに加え、地区内に拠点を置く多様な企業などとの座談会を通じ、現状の課題や「これからどのような街であってほしいか」という様々な意見が集められています。

この将来ビジョンを検討するワーキンググループには、私もみなとみらいにある学校の代表として参加させていただいております。今夏には本校の5・6年生も、子どもの声をまちづくりに反映させるためのアンケートに参加いたしました。現在、ワーキンググループの活動を通じ、地区内のさまざまな企業の方々と直接つながりを持ち、街の未来に対する熱い思いや貴重なお話をうかがう機会を得ております。

対話を重ねる中で強く感じるのは、このまちには学校や子どもたちの成長を温かく見守り、応援してくださる多くの大人たちがいるという心強さです。学校の中での学びと、地域社会という広いフィールドでの学びは地続きです。道徳の授業を通して育まれる「豊かな心」や、地域と関わりながら育まれる「まちを愛し未来を想う視点」を大切にしながら、今後も地域に開かれた教育活動を推進してまいります。

実り多きこの秋、子どもたち一人ひとりが心身ともに一層大きく飛躍できるよう、教職員一丸となって指導・支援に努めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。